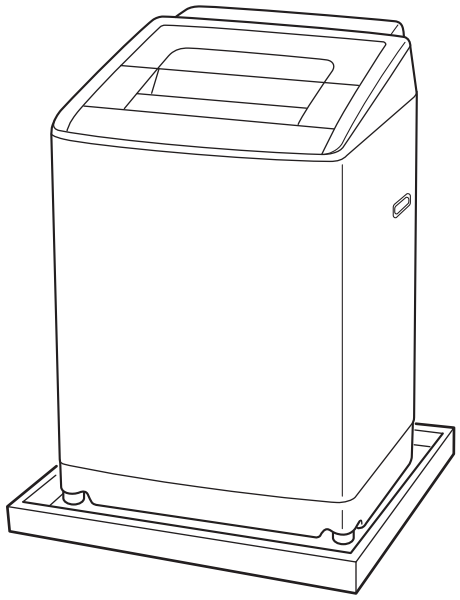
据付説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立電気洗濯乾燥機

型式

BW-D10TV
BW-D9TV
BW-D8TV
BW-D100TVE2
BW-D90TVE2



イラストは代表機種

もくじ

ご使用の前に
- ●安全上のご注意…… 2

据え付け場所の確認
- ●防水パン、洗濯機用トレー、全自動専用設置台…… 4
- ●防水パンの設置…… 4
- ●排水トラップの設置…… 5
- ●糸くずボックスの設置…… 5
- ●据え付け場所…… 5

据え付け
- ●据え付けかた…… 6
- ●排水ホースの引き出しかた…… 7
- ●排水ホースの接続…… 8
- ●本体の下に排水口がある場合…… 9

アース線の接続と電源の確認
- ●アース線の取り付け…… 10
- ●電源(コンセント)…… 10

給水ホースの確認
- ●水栓の確認…… 11
- ●ワンタッチつぎての取り付けかた…… 12
- ●給水ホースの取り付けかた・外しかた…… 13

お湯取ホースの確認
- ●お湯取ホースの取り付けかた…… 14
- ●お湯取ホース使用時のご注意…… 15
- ●お湯取ホース掛けの使いかた…… 15

点検
- ●試運転…… 16

据え付けをされる方へ	●据え付け前には、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。 ●製品の機能が十分発揮されるように、この「据付説明書」の内容に従って、正しく据え付けてください。 ●据え付け終了後は、「洗濯乾燥機設置時のチェックシート(据付確認書)」に従って確認を行ってください。 ●据え付け終了後は、試運転を行ってください。 ●この「据付説明書」は、お客様にお渡しください。
お客様へ	●排水管の洗浄や転居の際に、洗濯乾燥機を移動する場合がありますので、この「据付説明書」は、「取扱説明書」とともに大切に保存してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

据え付ける前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。

■ここに示した注記事項は

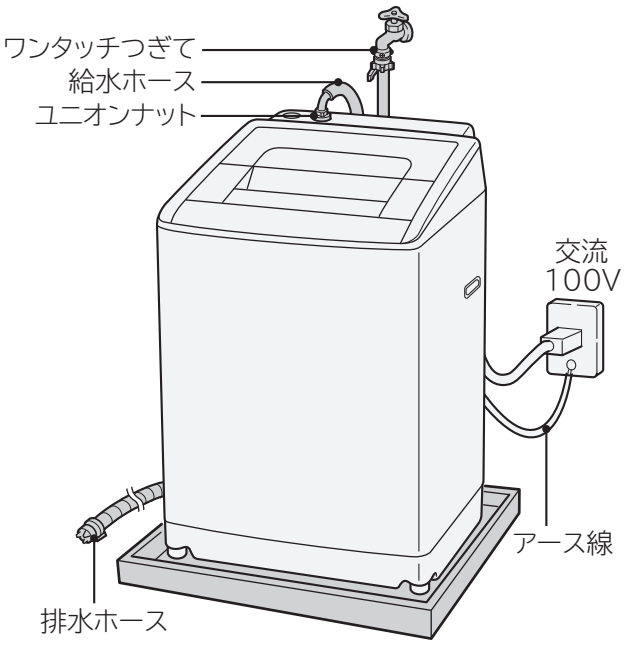
誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
警告や注意の内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🚫	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告



定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

電源

ほかの器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない

禁止

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけない

（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）

禁止

電源コードが破損し、発煙・発火の原因になります。

据え付け作業を行う際は、手袋を着用する

けがを防止するためです。

タコ足配線をしない

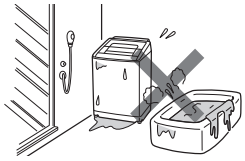
禁止

発煙・発火の原因になります。

浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所に据え付けない

水場禁止

感電や漏電による火災のおそれがあります。



電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る

清掃

火災の原因になります。

キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない

禁止

運転中の振動で移動したり、転倒したりするおそれがあります。

アース線を取り付ける

アース線接続

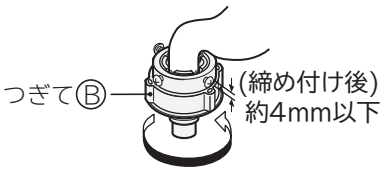
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。
(工事費は本体価格に含まれません)

⚠注意

水漏れ

付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎて(B)をしっかり締め付ける

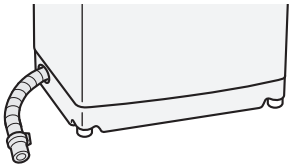
- ●付属品以外のつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
- ●長期間使用するとねじやつぎてが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。



水漏れ

洗濯乾燥機を据え付けるときは、排水ホースを本体内部でたるませない

内部でたるんでいると、ほかの部品と接触し、ホースが破れて、水漏れして、思わぬ被害を招くことがあります。



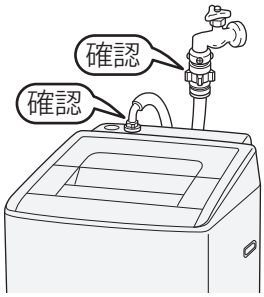
給湯機からの温水を使用しない

瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。

水漏れ

据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとは、まず水栓を開いて水漏れがないか確認する

ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。



水漏れ

給水ホースの本体接続時は、ユニオンナットをしっかり締め付ける

- ●水漏れの原因になります。
- ●長期間使用するとユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

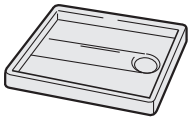
防水パン、洗濯機用トレー、全自動専用設置台

本体からの水漏れや結露による水滴により、床面がぬれたり、汚れたりするおそれがあります。

別売り部品の洗濯機用防水パン(TP-780)・洗濯機用トレー(YT-1)を設置することをおすすめします。

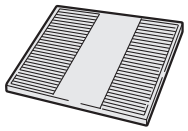
⚠警告

防水パン使用時は、防水パンの排水に注意する
防水パンの排水口が詰まると、水がたまりあふれて感電するおそれがあります。



洗濯機用防水パン（TP-780）
(幅780×奥行640×高さ63mm)

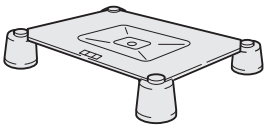
本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、洗濯乾燥機の脚を防水パンから外に出して据え付けるときは、別売り部品の全自動専用設置台(UP-D2)を設置することをおすすめします。



洗濯機用トレー（YT-1）
(幅640×奥行640×高さ30mm)

⚠警告

本体を高くする場合には、専用の置台を使用する
専用の置台以外を使用すると、本体の下に手足などが入り、けがをするおそれがあります。



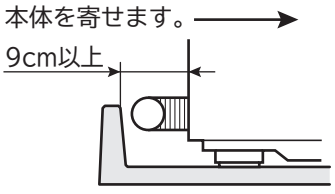
全自動専用設置台（UP-D2）

キャスター付きの設置台や側面が開口した設置台は、排水ホースが外れたり、けがをするおそれがあります。

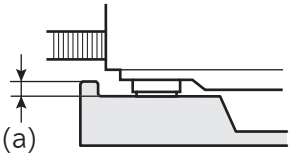
防水パンの設置

内寸が幅62cm以上、奥行54cm以上、高さ8cm以内の防水パンに設置できます。(BL規格防水パン対応)

- ●排水口の位置によっては、別売り部品の「直下排水L形パイプ」HO-P5希望小売価格 1,000円(税別)が必要です。
- ●排水口が本体の下になり、お手入れができない場合は、別売り部品の「糸くずボックス」→**(P.5)**を設置することをおすすめします。
- ●排水ホース出口位置が防水パンの高さより高い場合は、本体を寄せて排水ホース側のスペースを9cm以上確保してください。



- ●四隅が高くなっている防水パンは、排水ホース出口位置が高くなります。
  (a)寸法が19mm以下の防水パンに設置できます。



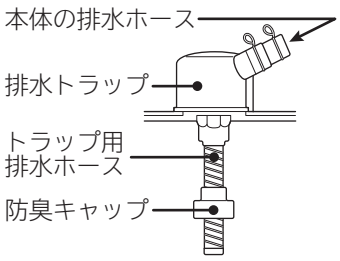
排水トラップの設置

乾燥時、排水口からのにおいを吸い込み、衣類にしみつく場合があります。

排水口からのにおいの吸い込みを防ぐために、「洗濯機用排水トラップ」YT-T1を設置することをおすすめします。

排水トラップの取り付けには、住宅工事の工務店などの工事が必要です。工務店にご相談のうえ、お買い求めください。

据え付けにあたっては、「YT-T1」に同梱の取扱説明書に従って、設置条件を確認してください。
(本体横に13cmの設置スペースが必要です)

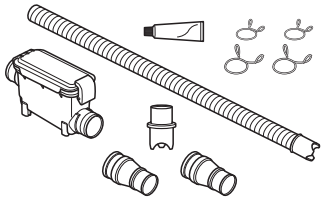


希望小売価格 4,000円(税別)

糸くずボックスの設置

排水口のお手入れ、掃除が困難な設置条件の場合には、別売り部品の糸くずボックスを設置することをおすすめします。

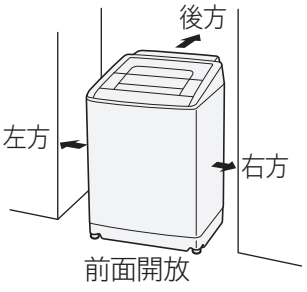
- ●排水ホースに取り付け、洗濯・乾燥中の糸くずなどを集めて取り除きます。
- ●排水トラップを使用する場合は、あわせて設置することをおすすめします。
  排水トラップの詰まりを防止することができます。



据え付け場所

据え付けに必要な寸法を確認してください。

本体は前面を開放して、背面や左右の壁などから下表の寸法以上離してください。
排水ホースの引出側は、9cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。



消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離(cm)
上方	50
左方	1.5※
右方	1.5※
後方	1.5
下方	0

※排水ホース側は9cm以上
(直下排水L形パイプを使用したときは、13cm以上)

糸くずボックスを使用するときは、排水ホース側を15cm以上あけてください。

しっかりした床に､水平に据え付けてください。

すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなることがあります。

しっかりした水平な床　弱い床　凸凹床

直射日光が当る場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けないでください。

本体内部の温度が異常に高くなったり変形したりします。

屋外など凍結のおそれのある場所には、据え付けないでください。

本体内部の残水が凍結し、思わぬ被害をまねくことがあります。

⚠警告

有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所に据え付けない
引火したり、プラスチック部品が故障するおそれがあります。

据え付けかた

⚠注意

本体を水平に据え付ける
水平に据え付けないと、故障や水漏れ、脱水中の停止、異常音の原因になります。

❶ 本体を据え付け場所に置く

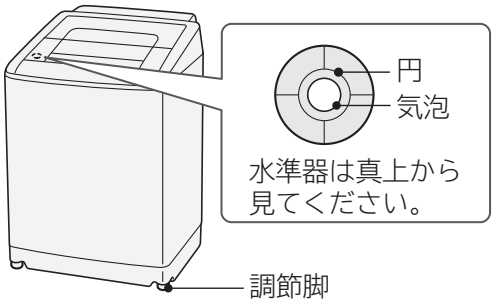
本体がガタつく場合は、次のように調節してください。

調節脚側が、ガタつく場合
調節脚を高くしてガタつきをなくしてください。

調節脚の反対側が、ガタつく場合
後ろ側の脚を床につけ、前側の脚と床面とのすき間に適当な板材などを敷いて、ガタつきをなくしてください。

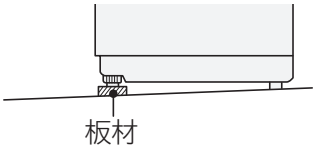
❷ 水準器の気泡の位置を確認する

気泡が円の中に入っている場合は、脚の調節は必要ありません。
気泡が円の中に入っていない場合は、付属品の脚キャップで高さを調節してください。



❸ 水準器の気泡の位置に応じて、固定脚に付属品の脚キャップを取り付ける（調節脚は回して高さを調節します）

気泡が円から半分以上出ている場合は、床面の傾斜が大きいため脚キャップだけでは調節できません。適当な板材などを敷いてください。



❹ 本体にガタつきがないか確認する

ガタつきがある場合は、調節脚で調節してください。

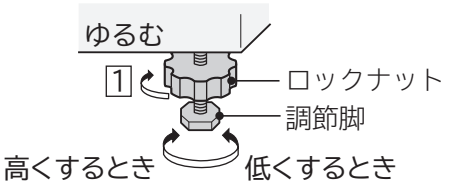
■脚キャップについて

- ●付属品の脚キャップは、4mm、8mm用の2種類が、それぞれ2個ずつ同梱されています。必要に応じ、組み合わせて使用してください。
- ●組み合わせて使用するときは、高さの低い方を下にしてください。
- ●脚キャップを調節脚に取り付けることはできません。

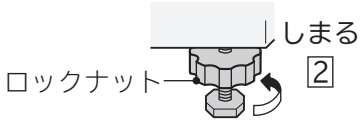
調節脚の使いかた

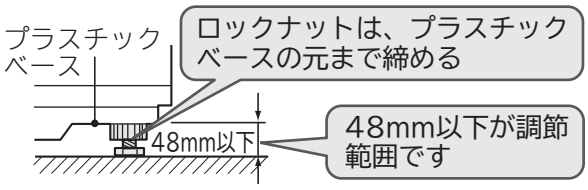
❶ ロックナットを矢印方向 1 に回して緩め、調節脚を回してガタつきを調節する

14mmまで高さ調節ができます。



❷ 調節が終わったら、ロックナットを矢印方向 2 に回して固定する





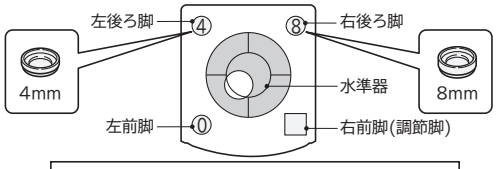
水準器の気泡位置と脚高さ調節方法の目安

気泡のはみ出し量 ＼ 気泡の方向	調節例			
	円からはみ出している場合			
Ⓐ ほぼ縦・横線上	① 8mm 調節	② 8mm 調節	③ 8mm 8mm	④ 8mm 8mm
Ⓑ 斜め45°の方向	⑤ 4mm 8mm 調節	⑥ 4mm 4mm 調節	⑦ 4mm 8mm 調節	⑧ 8mm 4mm 4mm

■左表の見かた

(気泡の片寄り方向とはみ出し量を確認します)
(例) 気泡が左前脚方向にはみ出している場合 ➡ 調節例の⑤

(洗濯乾燥機を上から見た状態です)



⓪ 左 前 脚：そのまま
④ 左後ろ脚：4mmの脚キャップを取り付ける。
⑧ 右後ろ脚：8mmの脚キャップを取り付ける。
□ 右 前 脚：調節脚を回して調節する。

排水ホースの引き出しかた

⚠注意

据え付けるときは、排水ホースを本体内部でたるませない
内部でたるんでいるとほかの部品と接触し、ホースが破れて水漏れするなど思わぬ被害を招くことがあります。
排水ホースの先端はしっかりと排水口へ入れる
排水ホースが外れると、水漏れなどの思わぬ被害を招くことがあります。

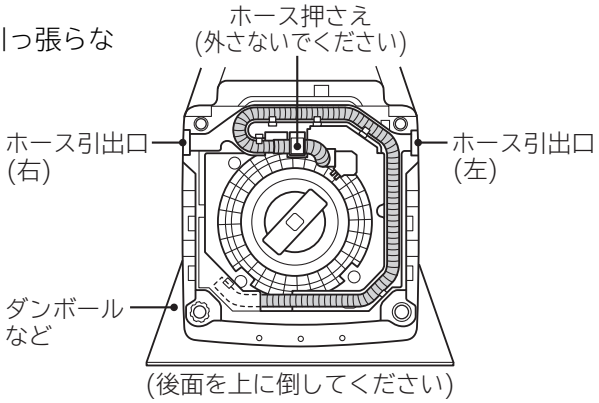
ホースキャップは、本体に付属(1個)されています。

排水ホースの引き出し方向に応じて、下記手順に従って取り付けてください。

排水ホースは、出荷時本体下部に固定されています。

排水口の位置に応じて、下記手順に従って本体の左側、あるいは右側に付け替えてください。排水口の位置が本体の下にあるときは、「本体の下に排水口がある場合」→**(P.9)**をご覧ください。

ご注意 固定されている排水ホースを引き出す場合、無理に引っ張らないでください。



① 本体を静かに前側へ倒す

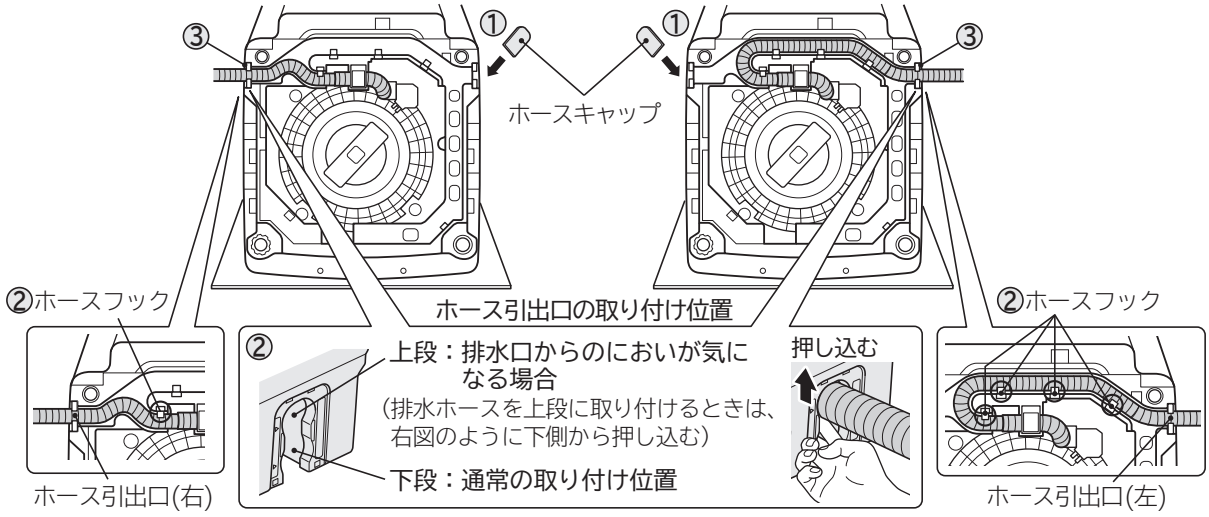
本体を倒す場合、傷つき防止のためダンボールなどの上に静かに倒してください。

ご注意 本体内部の部品が、破損や故障する原因となりますので、静かに倒してください。

② 排水ホースを本体から取り外し、ホース引出口(右)、または(左)に取り付ける

① ホースキャップを排水ホース引出側ではない方に取り付ける
② 排水ホースを溝にはめ込み、ホースフック(左に引き出す場合は4か所、右に引き出す場合は1か所)に固定する
③ 排水ホースをホース引出口(上段または下段)にはめ込む
④ 排水ホースが本体内部でねじれていないか確認する

ホース引出口(右)に取り付ける場合　　**ホース引出口(左)に取り付ける場合**



ご注意
- ●上段と下段の間に排水ホースを挟まないでください。
  排水ホース内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。
- ●すでに床面に排水トラップを設置している場合は、下段(通常の取り付け位置)で使用してください。
  上段に取り付けると、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。
- ●ホースフック部へ排水ホースを取り付ける場合、ホースフックの角部で破損や穴をあけないように注意してください。

③ 排水ホースの先端は、しっかり排水口に差し込む

排水ホースの接続

排水ホースを排水口に差し込む場合

排水ホースの先端に、ホースピースが付いていることを確認してください。

ホースの長さを調節するときは、下記の手順により作業を行ってください。

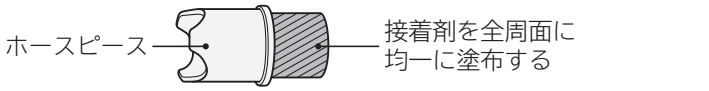
排水ホースの長さ調節のしかた

①希望の長さのところでホースをはさみやカッターなどで切断する

切断面は均一にしてください。
排水ホースを切断の際は、けが防止のために手袋を着用してください。

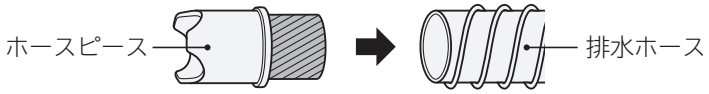
②付属品のホースピースに同梱されている接着剤を塗布する

接着剤を塗布していなかったり、ホースピース全周に塗布されていないと、水漏れの原因になります。

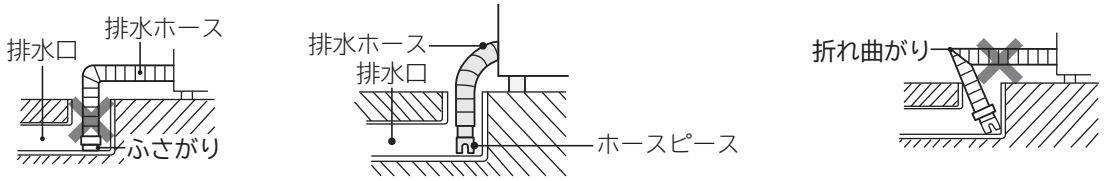


③接着剤を塗布したホースピースを回しながらホースに挿入する

このとき、ホースをねじらないように注意してください。
取り付け後は十分に乾燥させてください。
取り付け後は本体を試運転し、水漏れがないことを確認してください。

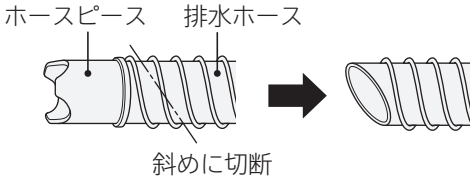


●排水ホースの先端がふさがってないか確認してください。
排水口が浅く、先端がぶつかっていると、排水が悪くなります。
●排水ホースは折れ曲がらないように差し込んでください。
●排水ホース先端が、排水の力や振動などで抜けないよう、しっかり差し込んでください。

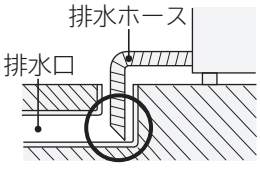


排水ホース先端のホースピースが排水口に入らない場合は、下記の手順に従ってください。

1 排水ホースの先端をはさみやカッターなどで斜めに切断する



2 排水口に差し込む



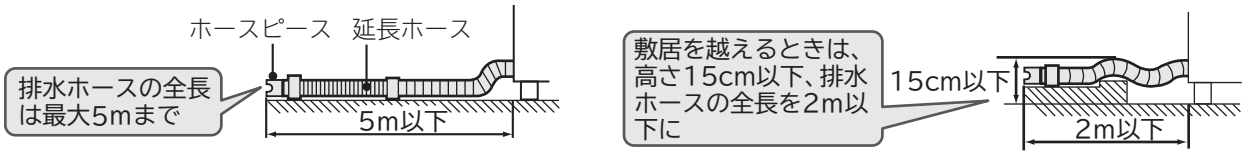
ご注意 排水ホースを切断の際には、けが防止のために手袋を着用してください。

排水ホースの延長

排水ホースを延長するときは、別売り部品の延長ホースを使用してください。

部品番号　BW-D9PV-031(長さ約80cm)　　希望小売価格 1,200円(税別)

排水ホースを延長するときは、排水性能が悪くならないように、次の点をお守りください。



- **排水ホースが敷居をまたいで高くなっている場合は、ホースの全長を2m以下、ホースの高さを15cm以下とする。**
- 15cmを超えると、排水ホース内部に糸くずなどの異物が詰まりやすくなります。
- 延長ホースを使用する場合、排水性能が悪くなり、正常な運転ができなくなる場合があります。
- 排水トラップを設置している場合は、定期的にトラップ内を掃除するようにしてください。
  排水トラップ内で糸くずが詰まり、排水できなかったり、水漏れするおそれがあります。

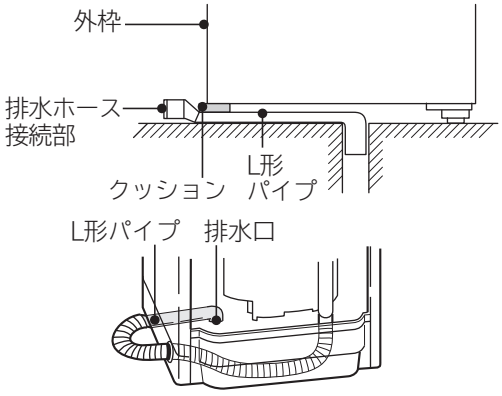
本体の下に排水口がある場合

設置条件

本体の下に排水口があるときは、直下排水L形パイプ「HO-P5」を使用してください。

① 排水口にL形パイプを挿入する

L形パイプは長・短2本が同梱されています。
排水口の位置が本体外枠の外側より約15cm以内にある場合は短いL形パイプを、そのほかの場合は長いL形パイプを使用してください。



② 本体を据え付ける

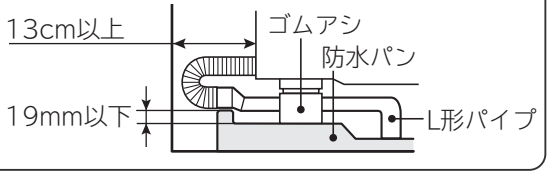
- L形パイプと排水ホースの接続部は、本体の外側に出るようにしてください。
- L形パイプが本体に直接当たらないように、クッションを貼り付けてください。

③ 排水ホースとL形パイプを接続する

- L形パイプの位置に合わせて、排水ホースを切断してください。
- L形パイプの排水ホース接続部に接着剤を塗布し接続してください。
  ホースがねじれないように接続してください。

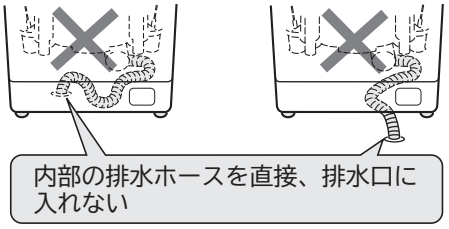
ご注意

- 防水パンの外周が高く取り付けられない場合は、HO-P5に同梱のゴムアシを設置してください。
- 排水ホースが壁と当たらないように13cm以上離して設置してください。



⚠注意

右図のような排水ホースの取り出しはしない
水漏れや異音の原因になります。



アース線の取り付け

⚠警告

アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。
アース線の取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

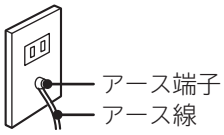
（電気工事士の有資格者がD種(第3種)接地工事をするよう、法令で定められています）

アース線を取り付けてください。

- ●万一の漏電時の感電事故を防ぐためです。また、漏電遮断器の取り付けもおすすめします。
- ●アース線を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- ●据え付け場所の変更や転居の際には、アース線の取り付けを行ってください。

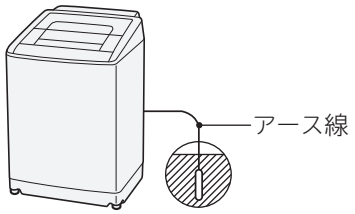
アース端子がある場合

アース線をアース端子に接続してください。



アース端子がない場合

アース工事をしてください。



⚠注意

次のようなところには、アース線を接続しない(法令などで禁止)
ガス管、電話線、避雷針、水栓
・水道管は途中から塩化ビニール管になっているところが多いため避けてください。

電源(コンセント)について

⚠警告

定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使う
ほかの器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

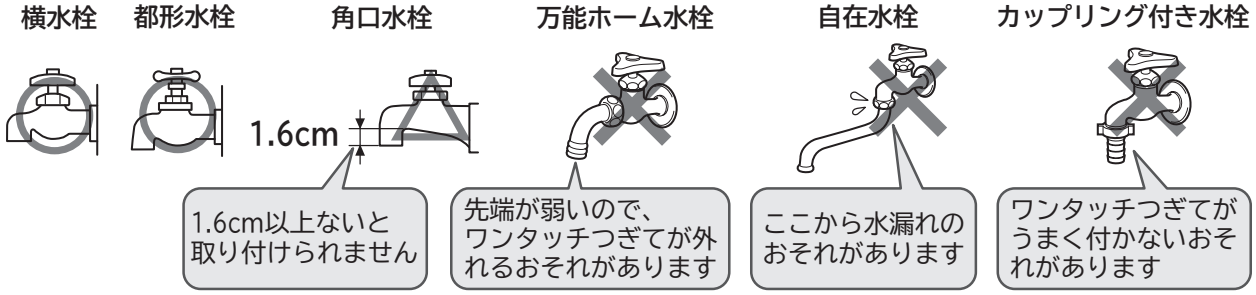
タコ足配線をしない
発煙・発火の原因になります。

延長コードを使用しない
過熱し、発煙・発火のおそれがあります。

水栓の確認

ワンタッチつぎてを使用する水栓の場合

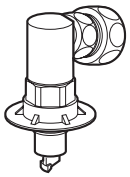
横水栓、都形水栓など、適した水栓を使用してください。
適さない水栓にワンタッチつぎてを使用すると、水漏れするおそれがあり、保証はできません。
自在水栓は使用できません。



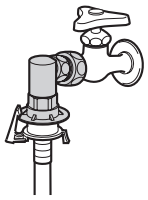
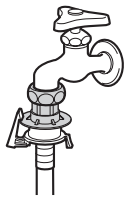
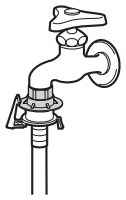
ワンタッチつぎてを使用できない水栓の場合

給水栓ジョイント(オートストッパー付)CB-J6

オートストッパー付水栓部品を使用してください。給水ホースが外れると、自動的に給水をストップし、水漏れを防止します。
取り付け方法は、部品の取扱説明書をご覧ください。
※右記以外の給水栓部品は使用しないでください。ツバがないと外れて水漏れするおそれがあり、保証はできません。

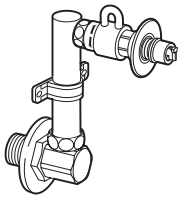


給水ホースの接続例

万能ホーム水栓・ツバのない全自動洗濯機用水栓	自在水栓	カップリング付き水栓
		

水栓の位置が低く、本体の背面に水栓が当たる場合

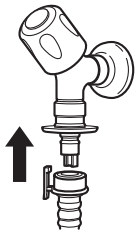
壁ピタ水栓(オートストッパー付)CB-L6



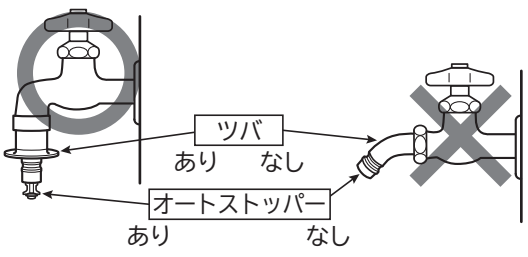
全自動洗濯機用水栓

全自動洗濯機用水栓(給水ホースを直接水栓に差し込める水栓)にも適合しない物があります。
使用する場合は、日本電機工業会規格JEM1206に準拠した水栓を使用してください。
使用している水栓が準拠しているかは、水栓メーカーにお問い合わせください。
ただし、ツバのないものは使用できません。
また、水栓接続部にさびや傷があると、水漏れの原因になるため使用できません。

全自動洗濯機用給水栓(オートストッパー付)YS-81

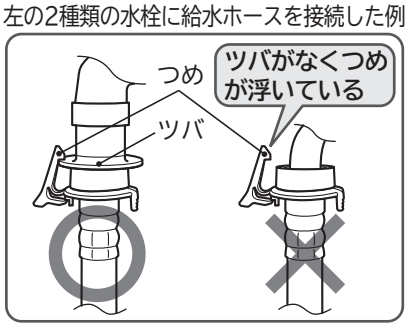


全自動洗濯機用水栓(安全対策あり)



全自動洗濯機用水栓(安全対策なし)

左の2種類の水栓に給水ホースを接続した例



※オートストッパー付きは、給水ホースが抜けると自動的に給水が止まります。

ワンタッチつぎての取り付けかた

⚠注意

付属品のワンタッチつぎてを使用し、つぎてⒷをしっかり締め付ける

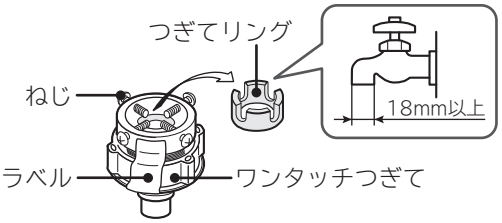
●給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。
●付属品以外のつぎてを使用すると水漏れの原因になります。
●長期間使用するとねじやつぎてが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。

水栓およびワンタッチつぎては、本体に触れないようにする

●振動により水漏れの原因になります。
●水栓のパッキンや金属部などが、長年使用していると経年劣化やさびなどにより、水漏れに至るおそれがあります。

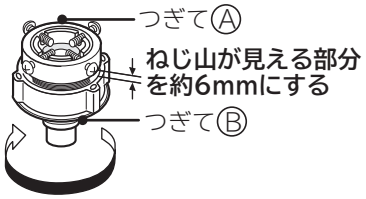
❶ 水栓の直径を確認する

直径が18mm以上のときは、つぎてリングを外します。

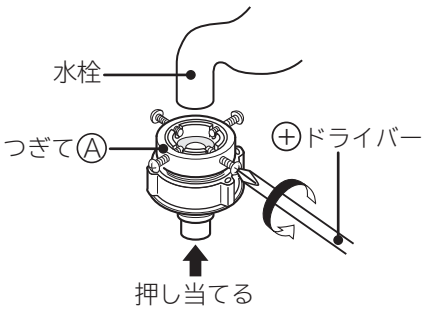


❷ つぎてⒶ、Ⓑとのすき間が6mmあることを確認する

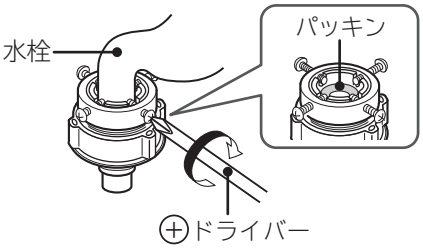
つぎてⒷを矢印方向に回し、すき間を調節します。



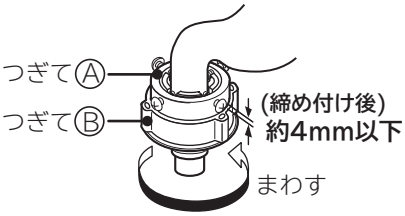
❸ つぎてⒶのねじ4本を水栓の直径まで緩め、水栓の先端に押し当てる



❹ 壁側になるねじを先に手で締め、水栓がパッキンの中心になるように、ねじを均等にしっかり締め付ける



❺ つぎてⒷを矢印方向に回し、つぎてⒶとⒷのすき間を約4mm以下にする



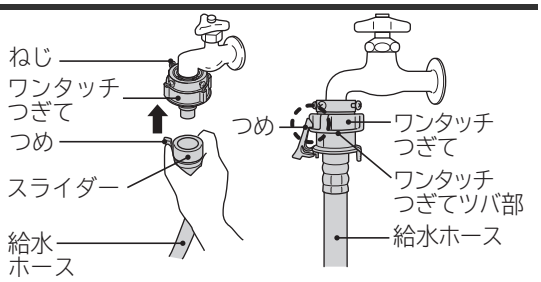
●給水ホースの取り付けは、「給水ホースの取り付けかた・外しかた」→**(P.16)**をご覧ください。
●長期間使用するとねじやつぎてⒶ、Ⓑが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
～　の手順に従い、取り付け直してください。付け直しても水漏れするような場合には、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り替えてください。(転居のときなど、ワンタッチつぎてを取り付け直すときにも同じ作業を行ってください)

給水ホースの取り付けかた・外しかた

水栓

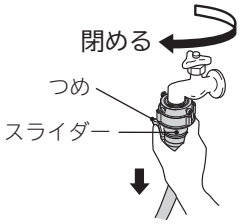
取り付けかた

1. **スライダーを押し下げながら、ワンタッチつぎてに差し込む**
2. **スライダーを離して、「パチン」と音がするまで給水ホースを押し上げる**
   - ●給水ホースのつめが、ワンタッチつぎてのツバ部にしっかり掛かっていることを確認してください。
   - ●給水ホースをひっぱり、抜けないことを確認してください。



外しかた

1. **水栓を閉める**
2. **洗濯ボタンを押して「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約1分間運転する**
   外すときの水の飛び散りを防ぐためです。
3. **つめを外し、スライダーを押し下げながら、給水ホースを外す**



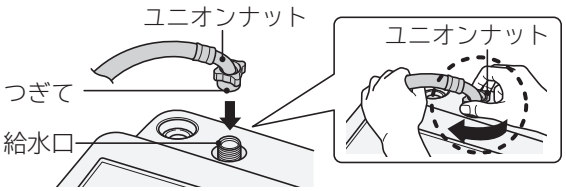
本体

ユニオンナットの取り付けかた

⚠注意

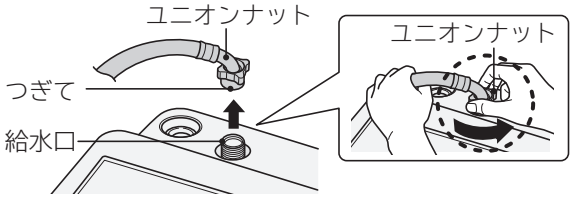
給水ホースの本体接続時は、ユニオンナットと給水ホースを一緒に矢印方向に回して、給水口にしっかり締め付ける

- ●ユニオンナット取り付け後に、つぎてのぐらつきやユニオンナットの緩みがないか確認してください。締め付けが十分でないと、水漏れの原因になります。
- ●長期間使用するとユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。定期的に点検し、緩んでいる場合はさらに締め付けてください。



ユニオンナットの外しかた

1. **水栓を閉める**
2. **洗濯ボタンを押して「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して約1分間運転する**
   外すときの水の飛び散りを防ぐためです。
3. **ユニオンナットを矢印方向に回して外す**



- ●給水ホースおよびワンタッチつぎては、付属品を使用してください。
- ●ねじやワンタッチつぎてをさらに締め付けたり、付け直しても不具合なときは、ワンタッチつぎてと給水ホースを取り換えてください。
- ●長期間使用するとねじ、ワンタッチつぎてやユニオンナットが緩み、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。緩んでいる場合は、さらに締め付けてください。

給水ホース関連部品

給水ホースを延長するとき

長さ	部品番号
1m	KW-S451-618
2m	KW-S451-619
3m	KW-S451-620

延長作業(有料)は、販売店にご依頼ください。

本体と水栓の距離が近いとき

短い給水ホース(0.5m)を使用してください。
部品番号　NW-6SD-031

お湯取ホースの取り付けかた

使用する前にお湯取ホースにクリーンフィルターを取り付けてください。
付属品のお湯取ホースは約4mです。本体と浴槽の距離に合わせて切断して使用してください。
吸水中は水の重さによりホースが垂れ下がりますので、長めに切断するようにしてください。
(効率よく風呂水を吸水するためです)

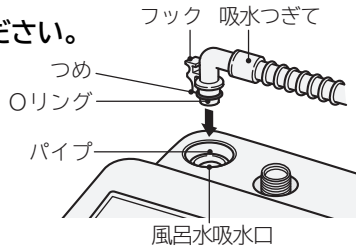
お湯取ホースの長さ調節

① 風呂水吸水口のシールを取る

一度はがしたシールは、風呂水吸水口に再度はり付ける必要はありません。

② お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
●入りにくい場合は、Oリングに少し水をつけ、回しながら押してください。
●Oリングを外したり傷つけたりしないでください。
外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。

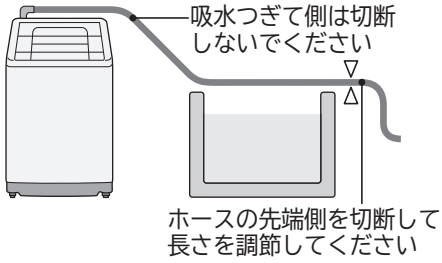


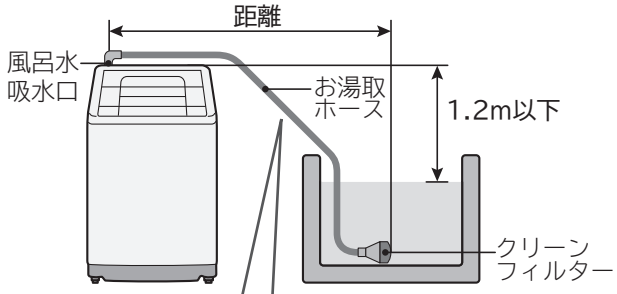
③ ホースの先端を浴槽に入れ、ホースの長さを調節する

●付属品のお湯取ホースは約4mです。
●風呂水吸水口からクリーンフィルターまでの距離が3m以内になるように、ホースの先端側をはさみやカッターで切断します。

別売り部品の場合

お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約5m	4m以内



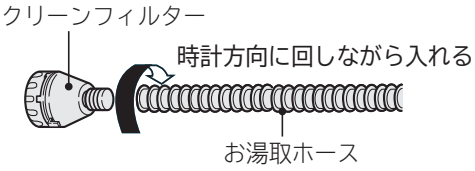


吸水中は、水の重さによりホースが垂れ下がり、クリーンフィルターが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。

※付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売り部品のお湯取ホースを使用してください。
・約7mホース
部品番号 NW-7P5-045
希望小売価格 1,800円(税別)
・約5mホース
部品番号 NW-7P5-046
希望小売価格 1,700円(税別)

④ クリーンフィルターをお湯取ホースに取り付ける

ホースを時計方向に回しながら入れます。
ホースの内側に水をつけると入れやすくなります。

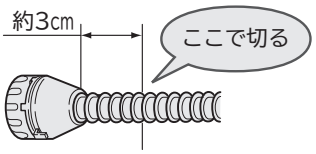


クリーンフィルターの取り外しかた

クリーンフィルターは、一度取り付けると手で簡単に外せません。
ホースの長さ調節のために、クリーンフィルターを取り外すときは、下記の手順に従ってください。

① ホースを切断する

クリーンフィルターの根元から約3cmの所でホースを切断します。



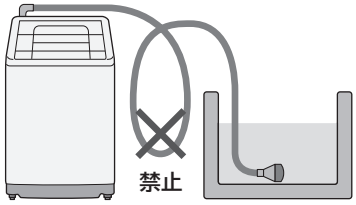
② クリーンフィルターに付いているホースを取り除く

ホースの先端に約1cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらホースを取り除きます。

お湯取ホース使用時のご注意

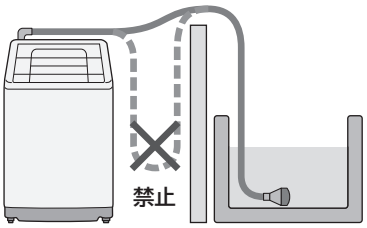
お湯取ホースは巻いたまま使用しない

ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。



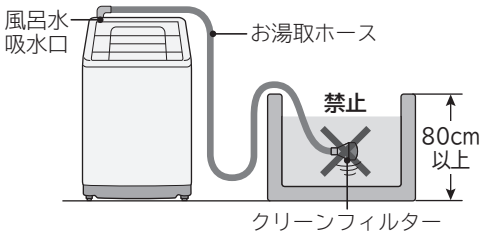
高い壁を越えるときは、ホースのたるみをなくす

ホースにたるみがあると、ホースの抵抗が増え、風呂水吸水できない場合があります。



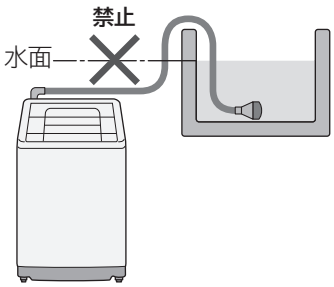
クリーンフィルターが浮き上がらないようにする

浴槽の高さが床面から80cm以上の場合は、垂れ下がったお湯取ホースの重みで、クリーンフィルターが浮き上がりやすくなります。おもりなどで浮き上がらないようにしてください。



風呂水吸水口よりも浴槽の水面のほうが高い場所で使用しない

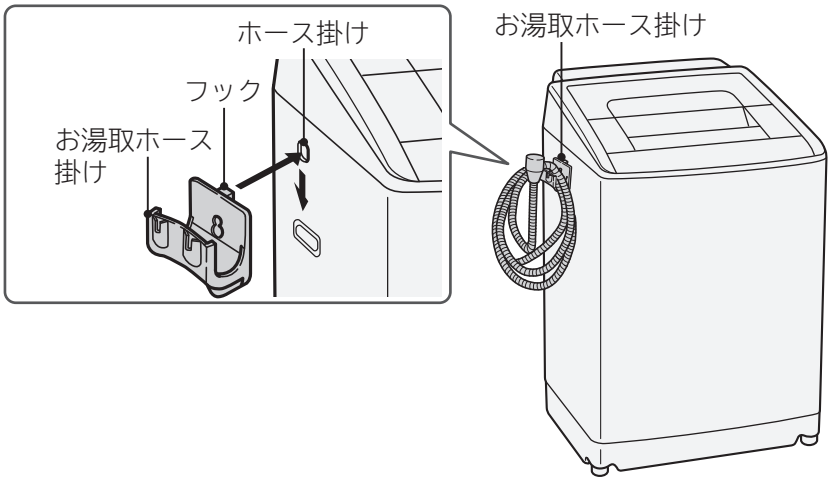
サイホン現象により、ポンプの運転が終わっても水が止まらず、水漏れの原因になります。



お湯取ホース掛けの使いかた

お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて、止まるまで押し下げて取り付けてください。

本体の左右どちら側でも取り付けられます。



試運転

設置後は下記手順で試運転を行い、異常音、ホース取り付け部からの水漏れや、排水ホース先端が排水口から抜けていないかなどを確認してください。

① 電源を入れ、 脱水 と 予約 を同時に3秒以上押す

表示部に「777」が表示されます。

② スタート ー時停止 を押し、水栓をゆっくりと開ける

運転が始まり、約4分半後に自動で停止します。
（洗濯乾燥機に急激な水圧をかけないため、水栓はゆっくりと開けてください）

運転行程	時間	確認のポイント
①洗剤量測定	約30秒	・洗剤量表示が出ますか
②給水	約90秒	・給水されているか ・接続されるホース(給水ホースなど)から水漏れがないか
③洗い	約10秒	・はねや洗濯槽が回っているか ・水漏れや異常音がないか
④排水 ⑤脱水	約120秒	・きちんと排水されているか ・接続されるホース(排水ホースなど)から水漏れがないか ・異常音がないか
⑥乾燥	約30秒	・送風音がするか ・異常音がないか

※時間は、水道水圧や排水状態により変動します。

- ④以降はふたが閉じていないと「C03」お知らせが表示されます。ふたを閉じて運転してください。
- 終了のメロディーが鳴り、自動で電源が切れます。
- 運転終了後に、給水ホース接続部や洗濯乾燥機から水漏れして、内ふたの周りや床面がぬれていないかを確認してください。

⚠ 注意

水栓をゆっくりと開ける
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

洗濯前に、水栓を開いて水漏れがないか確認する
ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

洗濯乾燥機据え付け後や移設後など、水栓接続を変えたあとや洗濯・乾燥前は、水栓を開いて水漏れがないか確認する
接続部が緩んでいると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。
また、長期間使用していると、パッキンの経年劣化や金属部のさびなどにより、水漏れするおそれがあります。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-P1692-2A